

インド洋熱帯性マグロ – まき網 (OPAGAC)

概要

当FIPはメバチマグロ、カツオとキハダマグロ、熱帯性マグロ類3種の全世界のストックを対象としていて、計13件の漁業が認証取得に挑んでいる。太平洋東部を拠点とする当FIPは、カツオ、メバチマグロ、キハダマグロの1ストックずつ含まれている。FisheryProgressの設定上、総合的FIPを、4つのRFMO (IATTC、ICCAT、IOTC、WCPFCの地域漁業管理機関)の範囲に沿った4件のsub-FIPに分割した。Sub-FIPに分割する理由は、MSC認証のスコアや取組み内容 (特に原則1と原則3)はRFMOによって異なるためである。全RFMOを併せてしまうと、様々な活動や実施計画を明確かつ包括的な方法で表示または追跡することができない。

FIPの目的

2021年秋季までに次の目的を達成する

1. 今後5年以内に、OPAGAC大規模まき網漁業団体の内、3つの海域および4つのRFMOでMSC認証を取得する
2. 大規模まき網漁業を、素群と流木群などの紛らわしい分割ではなく、MSC認証単位に統一する。
3. 主要な産業および環境パートナーを集め、漁業の持続可能性に向けて協力し合い、公正な市場アクセスを確保する。
4. RFMOに、最善の科学に基づく管理戦略評価 (MSC-Management Strategy Evaluation) へのサポートを含む熱帯マグロ種の資源の漁業管理ルール (HCR-Harvest Control Rule) を採用するよう奨励する。
5. 必要に応じて、HCRの対象外のストックに対する堅牢かつMSC基準に準拠した臨時再構築戦略を採用する。
6. 様々なRFMOに生態系アプローチ型の漁業管理制度を採用するよう影響を与える。
7. RFMOに科学的アドバイスをサポートする情報提供による人工集魚装置の使用に関するベストプラクティスの採用を支援する。
8. 漁船団体が非対象種に及ぼす影響を最小限にするための実際の変化を推進し、ウミガメやサメなどの要注意種の生き残りを改善する。

FIPのタイプ: 包括的

FIPのステージ:

ステージ3 : ステージ4 : 漁業の創業・管理における改善プロジェクトの開始と完了:

2016年10月~2021年9月

次回の報告期限:

2018年11月18日 (日)

魚種

一般名: メバチマグロ

学識名: *Thunnus obesus*

一般名: Skipjack Tuna

学識名: *Katsuwonus pelamis*

一般名: キハダマグロ

学識名: *Thunnus albacares*

漁法: 延縄

漁獲場所

FAO漁獲統計海区

51 (インド洋、西部)

57 (インド洋、東部)

排他的経済水域 (EEZ)

国: コモロ連合

国: ケニア共和国

国: マヨット

国: マダガスカル共和国

国: モリシャス共和国

国: モザンビーク島

国: セーシェル共和国

国: タンザニア連合共和国

旗国: セーシェル共和国

旗国: スペイン

地域漁業管理機関 (RFMO)

IOTC

ボリューム

FIPによる生産量: 80,000トン

進捗一覧

漁業状況: 本FIPは28中28の指数を考慮している

現在の状況:



FIP開始時の状況:



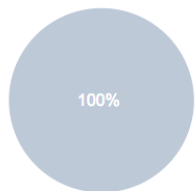
FIPの進捗:

進捗評価

A

高度進行

完了したアクション



●完了 ●未完了

次回の報告期限:

2018年11月

プロジェクトの完了目標:
2021年9月

FIPのリード

組織名:

OPAGAC

組織タイプ:

産業

連絡先:

Dr. Julio Morón

メールアドレス:

julio.moron@opagac.org

電話番号:

+34 91 431 48 57

ウェブサイト:

[OPAGAC](#)

組織名:

WWF

組織タイプ:

NGO

連絡先:

Dr. Bill Fox

メールアドレス:

bill.fox@wwfus.org

電話番号:

+15712058845

ウェブサイト:

[WWF](#)

FIPへの参加者

OPGAC

WWF